

参考資料1

小児から若年成人の喘息における生物学的製剤の使用 実態アンケート調査

厚労科研 免疫・アレルギー疾患政策研究事業（令和3-5年度）の一環として 小児から若年成人喘息での生物学的製剤の適正使用に関する臨床研究の実施を予定しています。本格的な調査の前に、先生方へのアンケート調査で、小児および成人診療担当科における生物学的製剤を用いた喘息診療の概要を把握したいと考えております。

アンケートでは、喘息に対する生物学的製剤の総使用人数、6歳から15歳における使用人数と効果の印象、15歳から39歳における使用人数と効果の印象を伺います。データベース等がございましたら、お手元にご準備いただけますと入力しやすいかと存じます。

†なお、年齢は、生物学的製剤の使用開始時の年齢でご回答ください。

*必須

- 1。 質問① 本アンケートは、個人として、または施設としていずれも回答できます。施設内で話し合って、個人毎に回答するか、施設の代表者が回答するかを決めてから、ご回答ください *

1 つだけマークしてください。

- 個人として回答
 施設の代表者として回答

- 2。 質問② 先生の標榜科を御回答下さい *

1 つだけマークしてください。

- 内科
 小児科
 内科と小児科双方
 その他

3。 質問③ あなたの所属する施設の所在地（都道府県）を教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

北海道

青森

岩手

宮城

秋田

山形

福島

茨城

栃木

群馬

埼玉

千葉

東京

神奈川

新潟

富山

石川

福井

山梨

長野

岐阜

静岡

愛知

三重

滋賀

京都

大阪

兵庫

奈良

和歌山

鳥取

島根

- 岡山
- 広島
- 山口
- 徳島
- 香川
- 愛媛
- 高知
- 福岡
- 佐賀
- 長崎
- 熊本
- 大分
- 宮崎
- 鹿児島
- 沖縄

4。 質問④ あなたの所属する施設名を教えてください *

5。 質問⑤ 先生のお名前を教えてください。 *

6。 質問⑥ 今までに重症喘息に対して生物学的製剤を使用したことはありますか？ *

1つだけマークしてください。

- あり
- なし

セクション8 (質問は以上です。御回答頂きありがとうございました。) にスキップ

担当患者に生物学的製剤を使用している(いた)方に質問です。

7。 現在 喘息で生物学的製剤を使用中の患者の人数を教えてください（人）。 *

1 つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

8。 過去に 喘息で生物学的製剤を使用していた患者の人数を教えてください (人)。(使用中を含まない)

*

1 つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

- 9。 今後一年以内に 喘息で生物学的製剤の使用を検討している患者の人数を教えてください (人)。(使用中を含まない) *

1 つだけマークしてください。

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- それ以上

- 10。 6-15才+の喘息患者に対して生物学的製剤の使用経験はありますか? *
- +生物学的製剤の使用開始時の年齢

1 つだけマークしてください。

- ある
- ない 質問 24 にスキップします

6-15才の喘息患者に対して生物学的製剤を使用している(いた)方に質問です。

質問① 6-15才+の喘息患者につき伺います。以下4製剤の生物学的製剤の使用している(いた)人数をご回答ください。変更などで複数製剤を使用している(いた)場合は、それぞれの製剤に一人分としてカウントしてください。

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

11. 質問①-1 ゾレア（オマリズマブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- それ以上

12. 質問①-2 ヌーカラ（メポリズムラブ）の使用人数（人） *

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

13. 質問①-3 ファセンラ（ベンラリズムブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

14. 質問①-4 デュピクセント（デュピルマブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- それ以上

質問② 6-15才†の喘息患者につき伺います。以下4種類の各生物学的製剤について、著効 (**excellent**)、有効 (**good**)、まずまず (**moderate**)、無効 (**poor**)、悪化 (**worsening**) とした場合、先生の総合印象として、有効以上の効果が得られたのは何名でしょうか。変更などで複数製剤を使用している（いた）場合は、それぞれの製剤に一人分としてカウントしてください。ご使用経験がない場合はゼロを入力して下さい。

†生物学的製剤の使用開始時の年齢

15. 質問②-1 ゾレア（オマリズマブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

16. 質問②-2 ヌーカラ（メポリズムブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

17. 質問②-3 ファセンラ（ベンラリズムブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

18. 質問②-4 デュピクセント（デュピルマブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- それ以上

質問③ 6-15才†の生物学的製剤を投与している喘息患者につき伺います。医療費負担の状況についての以下2つの質問にご回答ください。

†生物学的製剤の使用開始時の年齢

19. 質問③-1 公費による補助制度を利用している方は何人いらっしゃいますか？（人） *

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

20. 質問③-2 通常の保険診療で投与している(高額療養費含む) 方は何人いらっしゃいますか? (人) *

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

21. 質問④ 6-15才の重症喘息患者に対して、生物学的製剤の使用をためらう理由^{*}をご回答ください

(複数回答可)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 医療費増加
- 受診回数の増加
- 在庫管理が困難
- 有害事象に懸念
- 長期安全性に懸念
- 重症喘息と判断できない
- いつまで持続すべきか不明瞭
- 呼気一酸化窒素濃度を測定できない。
- その他: _____

22. 質問⑤ 6-15才+の生物学的製剤を使用している喘息患者につき伺います。これまでの診療担当科について最もあてはまるのはいずれでしょうか。^{*}

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

1つだけマークしてください。

- 小児科で生物学的製剤を導入し、小児科で診療継続している
- 小児科で生物学的製剤を導入し、内科へ移行した
- 小児科から紹介され、内科で生物学的製剤を導入した
- 内科で生物学的製剤を導入し、内科で診療継続している
- その他: _____

23. 質問⑥ 6-15才+の生物学的製剤を使用している喘息患者につき伺います。今 *
後の診療担当科について最もあてはまるのはいずれでしょうか。

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

1 つだけマークしてください。

現在は小児科で担当し、小児科で診療継続

現在は小児科で担当し、内科へ移行予定

現在は内科で担当し、内科で診療継続

現在は内科で担当し、小児科へ移行予定

その他: _____

16-39才の喘息患者を担当する方への質問です。

24. 16-39才+の喘息患者に対して生物学的製剤の使用経験はありますか？

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

1 つだけマークしてください。

ある

ない 質問37 にスキップします

16-39才の喘息患者に対して生物学的製剤を使用している(いた)方に質問です。

質問① 16-39才+の喘息患者につき伺います。以下4製剤の生物学的製剤の使用している(した)人数をご回答ください。変更などで複数製剤使用している(いた)場合は、それぞれの製剤に一人分としてカウントしてください。

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

25. 質問①-1 ゾレア（オマリズマブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

26. 質問①-2 ヌーカラ（メポリズムブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

27. 質問①-3 ファセンラ（ベンラリズムブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

28. 質問①-4 デュピクセント（デュピルマブ）の使用人数（人）*

1つだけマークしてください。

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- それ以上

質問② 16-39才+の喘息患者につき伺います。以下4種類の各生物学的製剤について、著効 (excellent)、有効 (good)、まずまず (moderate)、無効 (poor)、悪化 (worsening) とした場合、先生の総合印象として、有効以上の効果が得られたのは何名でしょうか。変更などで複数製剤使用している（いた）場合は、それぞれの製剤に一人分としてカウントしてください。ご使用経験がない場合はゼロを入力して下さい。

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

29. 質問②-1 ゾレア（オマリズマブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

30. 質問②-2 ヌーカラ（メポリズムマブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

31. 質問②-3 ファセンラ（ベンラリズムブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

32. 質問②-4 デュピクセント（デュピルマブ）の有効以上の人数（人）*

1つだけマークしてください。

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- それ以上

質問③ 16-39才[†]の生物学的製剤を投与している喘息患者につき伺います。医療費負担の状況についての以下2つの質問にご回答ください。

[†]生物学的製剤の使用開始時の年齢

33. 質問③-1 公費による補助制度を利用している方は何人いらっしゃいますか？（人） *

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

34. 質問③-2 通常の保険診療で投与している(高額療養費含む) 方は何人いらっしゃいますか? (人) *

1つだけマークしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

それ以上

35. 質問④ 16-39才の重症喘息患者に対して、生物学的製剤の使用をためらう理由をご回答ください。 *

(複数回答可)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 医療費増加
- 受診回数の増加
- 在庫管理が困難
- 有害事象に懸念
- 長期安全性に懸念
- 重症喘息と判断できない
- いつまで持続すべきか不明瞭
- 呼気一酸化窒素濃度を測定できない。
- その他: _____

36. 質問⑤ 16-39才+の生物学的製剤を使用している喘息患者につき伺います。これまでの診療担当科について最もあてはまるのはいずれでしょうか。 *

+生物学的製剤の使用開始時の年齢

1つだけマークしてください。

- 小児科で生物学的製剤を導入し、小児科で診療継続している
- 小児科で生物学的製剤を導入し、内科へ移行した
- 小児科から紹介され、内科で生物学的製剤を導入した
- 内科で生物学的製剤を導入し、内科で診療継続している
- その他: _____

研究の参加についての質問です。

37. あなたの施設では、オプアウト*を用いた臨床研究を行う事はできますか? *

*オプアウト：観察研究で患者への侵襲・介入がなく、診療情報のみを用いて行う研究の際に、病院のHPなどで研究目的・研究実施について情報を公開し、研究参加の拒否の機会を保障すること

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ

- 38。 喘息に対して生物学的製剤を使用した、または使用中の6歳以上40歳未満の患者の登録ならびに情報収集をEDC*を用いて行う予定です。あなたの施設は研究参加は可能ですか？ *

*EDC(Electronic Data Capture)とは、臨床検査値等のデータを電子的に収集し、管理することを言います。今回の研究では各病院にてパソコン経由でデータの登録を行い、中央施設にてデータの収集を行う予定としております。

1つだけマークしてください。

はい 質問39にスキップします

いいえ
セクション8（質問は以上です。御回答頂きありがとうございました。）にスキップ

臨床研究の参加について参加可能と回答頂いた方への質問です。

- 39。 あなたのメールアドレスを教えてください *

質問は以上です。御回答頂きありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム